

研究機関：広島大学

研究課題名	病理診断支援のための人工知能（病理診断支援 AI）開発と統合的「AI 医療画像知」の創出
研究責任者名	広島大学病院病理診断科 教授 有廣 光司
研究期間	2020年1月10日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日
対象者	2000年1月から2019年10月の間に、広島大学病院で乳腺生検を行われた患者さん。
意義・目的	現在胃、大腸、子宮頸部の疾患について、AIを用いた Deep learning による解析が行われています。しかし、多くの乳腺疾患について網羅的に解析した研究は現在のところ行われていません。本研究では、病理医が病変のある部位を特定した教師データを用いて乳腺疾患の解析を行い、AIによる診断支援の実現を目指します。
方法	本研究は、病理スライド及び病理診断結果を調査して行います。 病理診断結果から使用する内容は、生年月日、検査時年齢、性別、臓器名、採取法、検査日付、病理番号、臨床診断、臨床情報、病理診断、病理所見です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	東京大学、国立情報学研究所が Deep learning によるバーチャルスライドの解析を行います。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 教授 有廣光司
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5590 広島大学病院病理診断科 教授 有廣 光司